

回覧

令和3年(2021年)度 第十一回 定例役員会 2021年11月6日(土)

～2021年11月4日(木)作成～ (会場:ボンシャンス)

< 館長報告 > 館長 土井 承夫(どいよしお)

枯れ葉舞う季節となり朝ごとに冷気が加わる今日この頃、身も心も引き締まる思いであります。皆様にはお変わりなくご健勝のことと拝察いたします。

4年間毎月続けてきたこの「館長報告」もあと一回を残すのみとなりました。

< 公民館新築進捗(しんちよく)状況 >

～令和3年11月4日(木)午前8時撮影。建設中の新福庭自治公民館～



< 北側近傍から撮影 >



< 道路から全景を撮影 (10/28) >



< 道路から横・前部を撮影 (10/28) >

<今後の工程と完成後の予定について>

11月8日(月)～11月30日(火) 引き続き内装工事と床のフローリングを施工します。納期厳守の体制で進めて頂きます。
現状、工程に1日の遅れもありません。

11月30日(火) . . . **新・福庭自治公民館 完成・引き渡し。**

12月1日(水) . . . 倉吉市自治公民館施設整備補助金 2,000 万円が山陰合同銀行倉吉支店殿から福庭自治公民館口座に振り込まれる。
(山陰合同銀行様のご担当は 高田浩之 支店長代理 様)

12月1日(水) . . . 上記の入金により同日付けで下記の振り込みをし、
施工会社2社への残金支払いを全て完了する。(「館長報告」10月号の5,6ページを参照ください)

*井手添建築設計事務所殿へ 825,000 円

*馬野建設株式会社殿へ 25,920,000 円 (内 20,000,000 円は山陰合同銀行から、残りの 5,920,000 円は JA 河北支所から振り込まれますので馬野建設様は当日ご確認ください)

12月2日(木) . . . 最大値引きしたエアコン4台(全室・日立の「白くまくん」今年度最新モデル)、65 インチ大型 TV (大会議室に設置) と補助冷蔵庫等の電化製品関係の設置や全室インターネット Wi-fi(ワイファイ)システムの構築。
また、大会議室に大型 TV を設置するのは新公民館を防災避難場所としても利用する事を想定しているためです。

12月3日(金) . . . **引っ越し作業を行います。**3号公園に設置したコンテナ2個の公民館仮事務所・仮倉庫に5/10に納めた旧公民館の荷物を新公民館に戻す作業を行います。これは、再びアート引っ越しセンター鳥取支店にお願いして「戻り便扱い・お得意様(土井自身が過去、首都圏一倉吉便を複数回利用した実績あり)特別割引」にて作業頂くことで契約を済ませました。
(最大値引き 30%を獲得) 作業は午前 11 時から行い 15 時までは終了します。

* **備品の搬入**：この日の午後、各業者から次のアイテムが新公民館に搬入されます。

* 会議用ホワイトボード（白板の最新型）、* 会議用テーブル机 10 個（4 個は古い物が使えます）、* 高齢者用座椅子 5 個、* カーテンとレール（全室取り付けまで含む）、* 調理室用食器棚（高さ 180 センチ白）1 個です。これらは、私が業者とのタフな価格交渉により考えられる最大値引き価格にて契約しております。

* **寄贈品（無償提供）の搬入**：この日までに住民の皆さんから無償提供されたアイテムも搬入します・・「中古のアップライト型ピアノ（ブラウン色）」調律代と専門業者による運搬費は館長の土井が負担致します。「日本製薄型テレビと DVD プレーヤー」これは土井が保有する中古品でテレビ台をつけて無償提供します。1 階の 8 帖の部屋に設置予定です。

* パワーポイント資料発表用プロジェクターとスクリーン、ポインターを提供します。これは令和 2 年 2 月の倉吉市社会福祉協議会主催の「公民館活動に関する発表会」で私が運よく入賞して獲得した賞金で購入しました。

* その他、3 人の住民の方よりそれぞれ「応接セット（ソファ 4 点とテーブル）」と「新品同様の座布団 10 枚と和室用テーブル及びまだ新しい食器類多数」そして「新品同様の厚めの座布団 10 枚と玄関靴入れ」を寄贈頂きました。本当にありがとうございました。

*（追記）道路側のボロボロのフェンスは全て新しいフェンス（色は白）に取り換えます。新公民館完成の 11 月 30 日までに取り付けます。また、玄関の表札と自主的寄付金の「寄付者銘板」はセットにして同じ業者から購入します。表札は縦型でヒノキ板に「福庭公民館」の文字を黒色で刻します。

< 新公民館完成後の事務手続き >

* 建築登記簿謄本（履歴事項全部証明書）と土地登記簿謄本（履歴事項全部証明書）の作成は、すでに私が遠藤土地家屋測定士様と西川司法書士様（法人化と所有権移転で大変お世話になった方）と 9 月 7 日に面談させて頂き 12 月中に法務局に提出できるように手配完了致しました。

* 最高額のコミュニティセンター助成金 1,500 万円と市の施設整備補助金 90 万円の実勢報告書を作成し倉吉市地域づくり支援課様へ提出します。12 月中に同課から適時ご指導を頂きながら作成致します。（令和 3 年度コミュニティ助成事業実施要綱第 11 条に基づく）

（次葉につづく）

12月4日(土)・・・朝9時より前日に運ばれた引っ越し荷物の整理を行います。本年度の班長を含む全役員30名の内で都合のつく方は全員参加ください。各自都合のつく時間帯にて協力してもらえば良いです。

その他の一般住民の方で手伝って下さる方は新公民館視察も兼ねてお出でください。遅くとも13時までには終了したいと存じます(できれば午前中)

同日 18時30分より 12月定例役員会を新公民館2階大会議室で行います。

12月5日(日) 午前10時から14時まで「新公民館内覧会」を開催します。

工場や事業所の内覧会ではありません。住民の皆様が良くご存じの公民館のそれです。特にガイドは付けません。存分にご自由にご覧ください。福庭以外の方も大歓迎です。お待ち申し上げております。

12月10日(金) 午前10時 福庭福寿クラブ(老人会) 理事会・・・2階大会議室

12月19日(日) 午前10時より竣工式を開催します・・・公民館の主催となります。 倉吉市長様を初めとすご来賓の方々と施工関係者をお招きし、公民館役員と建設推進委員が出席して行います。

<福庭自治公民館新築特別寄附金(自主的な寄附)の集計状況>

この自主的な寄附金はプラスアルファ、つまり予備の財源です。然し、これが増えれば増える程低利借入金の返済額と返済期間が減っていくという重要な財源でもあります。その金額に応じて寄附金銘板にお名前を刻(こく)し永く新公民館に掲げます。

<重 要>

*寄附者銘板のタイトルは「福庭自治公民館建設寄附(自主的な寄附)金贈者御芳名」とさせていただきます。

*2年前の平成31年(2019年)2月に寄附をされる皆様全員から申告書を提出頂いていますが、「名前を公表しない」と書かれた方については銘板にお名前を刻しておりません。その代わりに、例えば寄附額一万円の方々は「匿名(とくめい)36名」と表現させて頂いております。

*様々な理由や事情で寄附をされていない方が全体の半分以上いらっしゃいますが、今回の趣旨はあくまでも「自主的な寄附」であります。寄附をされていない方々も新公民館を堂々と利用して下さい。決して遠慮されたり躊躇(ちゅうちょ)されたりしないで下さい。公民館費を頂いている方、即ち福庭自治公民館加入全世帯の皆様は平等公平かつ自由に新施設をご利用ください。町外のお知り合いの方々も福庭の方が一緒であれば自由にご利用ください。また町外の皆様だけでご利用の場合は、従来からの所定の安い利用料でお使い頂けます。

住民の皆様からの自主的な寄附金の受け付け窓口は館長の土井承夫です。
(26-0770 携帯 080-4261-1979) お電話を下されば、私が戴きに参ります。

この寄付金の受付期限を新公民館が完成する令和 3 年 11 月末日と致します。
また新公民館完成後も様子を見ながら引き続き受け付け致します。

*令和 3 年(2021 年) 10 月 31 日 (日) 現在の集計結果(総計)は次の通りです。

(1) 寄付頂いた世帯数： 153 世帯 (全体の約 36.9%)

(2) 寄附金の合計： 490 万円

(3) 個々の寄付金額の概要：最高額：30 万円 (1 名) 30 万円 (福庭青年団)
25 万円 (2 名：1 名は福庭、もう 1 名は福庭以外の方です) 20 万円 (1 名)
10 万円 (12 名) 5 万円 (11 名)、3 万円 (23 名)、2 万円 (16 名)、1 万円 (84
名・内 1 名は福庭以外の方です) 1 万円未満 (3 名)

<特別会費・事業所協力金お願いの月となりました>

今月は令和 3 年度の特別会費 (事業所協力金) を福庭地区にある企業 50 社の
会社様にお願いに上がります。この協力金は新公民館建設費用にも使わせて頂
く重要な財源であり、1 社 1 社 誠意を持ってお伺いしご協力をお願いするもの
であります。この作業は 11 月の定例役員会で班長を含む役員で分担を決め
丁寧かつ速やかに行って参ります。昨年通り、館長の私が最低 20 社以上は担当
させて頂きます (昨年実績は 24 社)

「館長名のご協力お願い文章」を 11 月定例役員会で部長・班長の皆様へ配布
致します。

～ 館長のちょっと一服コーナー ～

「野の花ものがたり」鳥取初公演を鑑賞して・・・2021 年 10 月 24 日 (日)

14 時開演：鳥取市民会館～徳永 進 医師「野の花通信」より・・・

私は音楽も好きだが、運動神経があまり良くないにも拘わらず色々なスポーツを観たり
実際に自分でやったりするのも厭 (いと) わない。私の自宅の道路を挟んで向かい側に
倉吉市の「河北中央公園」という結構広い市営公園があって、そこで「河北グラウンド
ゴルフ同好会」(会員は倉吉市上井<あげい>地区の上井、海田東・南・西、福庭の 60
歳以上男女で構成され、現在の所属人数は約 50 名、会長は福庭 7 班の福井吉宏氏) に
属して、週 3 回 (月、水、土) のグラウンドゴルフを楽しんでいる。ここへ行くと 100%
ネイティブの倉吉弁の世界で「おい、こないだは良かったかいや?今日は どがないや?

おまいには負けらあせんじえ！」の様な会話が飛び交う。現在 66 歳の私は昨年まで最年少でわりかし先輩方からかわいがられていたが、今年の夏の一つ下の女性が入会されて、漸く（ようやく）その地位を明け渡した。そして会員 50 名の中には昭和一桁生まれの方が現在 6 名いらっしやる。御年（おんとし）は傘寿（さんじゅ）を乗り越えて、米寿（べいじゅ）、卒寿（そつじゅ）に喃々（なんなん）とする人生の大先輩の方々である。

その中に私が日頃から尊敬申し上げこの「館長報告」も毎月読んで頂いている海田南の上本 精一さん（昭和 7 年生まれ）がおられる。グラウンドゴルフ当日、上本さんと出会ったら「グッドモーニング・サー、ハウアーユー？」と英語で問いかける事になっている。すると上本さんはタイミングよく「ニーハウ！」と即座に中国語で返答される。とてもユーモアに富んだモダンなナイスガイであられる。その上本さんからお誘いを受け、同氏のご令息であり東京の「劇団民藝」代表取締役の上本浩司さんが制作を手がける「野の花ものがたり」鳥取初公演を先日 10 月 24 日に鳥取市民会館で鑑賞させて頂いた。その公演の内容については既に新聞やテレビで報道されているのでご存じの方も多と思う。開設 20 年を迎えた鳥取市の「野の花診療所」で、ホスピスケア（終末医療＜末期がんなどの患者を看護する医療の事＞）に取り組む徳永 進医院長の話を軸に舞台は進行していく。公演は満員の観衆で埋め尽くされたが年配の方、特に女性の方が多かった様に思う。この種の話の演技は「大袈裟でお涙頂戴」的になる事が多いが、この劇団民藝の舞台は抑制と品格を保ちながら終末医療の現場での患者やその家族の営み、そこで働く看護師やスタッフの物語を訓練された明瞭で強弱のある発声法と気迫ある演技で観衆を感動せしめた。私も幾度となく涙ぐんでしまった。

徳永先生のお言葉に「きれいな言葉だけで死を語る事は難しい。命の有限の中に日常の輝きを感じ取ってもらえれば嬉しい」とある。また、劇中に先生役の俳優が語った死についての言葉がある。それは「人の死は終着駅ではない。人生を無限大と考えると死はちょうどその中間点くらいだ。その後まだまだこれまでと同じくらいの時間の道のりが待っている」・・・こうした「悲しみだけではない死への向き合い方」をこの舞台では心温まるエピソードやユーモアも交えながら描いている。

劇団民藝は昭和 25 年（1950 年）に創立され、滝沢修、宇野重吉、大滝秀治、樫山文枝、日色ともえ、清水将夫、岡倉士朗など錚々（そうそう）たる名優たちを輩出してきた。その代表取締役にある上本浩司さん（私とは高校が同窓で 8 年お若い）は現在、日本海新聞の「ひろば」欄のコーナー「潮流」に 6 回シリーズで寄稿されている。一昨日の第二回はコロナ禍の演劇制作～文化は「不要不急」かと題して書かれている。その中に「コロナの収束を待っていては、田畑は荒れ果ててしまいます。文化は人の営みの作物であり果実だと思います。生きる意味を与え、人生を豊かにし、暮らしに彩りを与えてくれる。人として＜生きる＞ために必要不可欠なものではないでしょうか」とある・・・上本さん親子の今後のご健勝とご活躍をお祈り致します。 以上